

総合操作盤設置基準

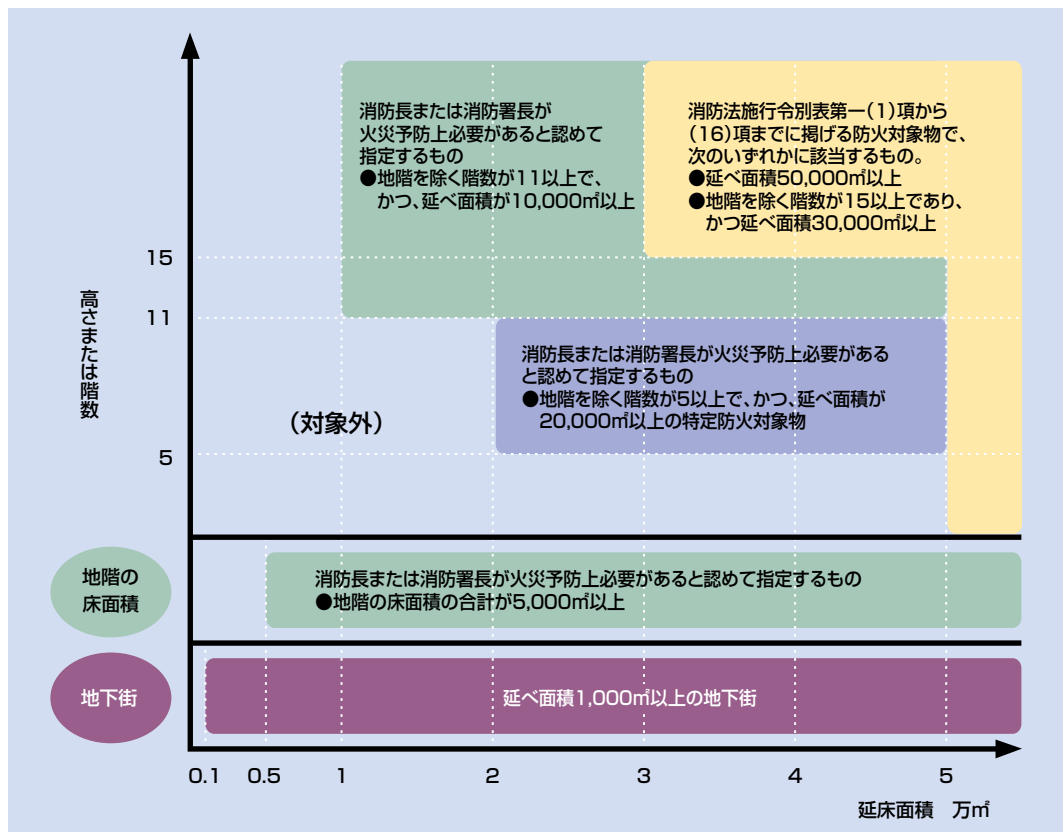
総合操作盤の主旨

大規模の建物、地下街等においては、消防活動を有効にすることを目的に、各種の消防・防災設備を有機的に機能させ、人命保護および資産保全を行うものとして総合操作盤の設置が義務づけられました。

総合操作盤を設ける防火対象物 総務省令第93号(平成16年5月31日)

消防法施行令表(別表)第1項から16項に掲げる防火対象物で、図Aに示す条件に該当する防火対象物には、総合操作盤を設ける必要があります。

■図A

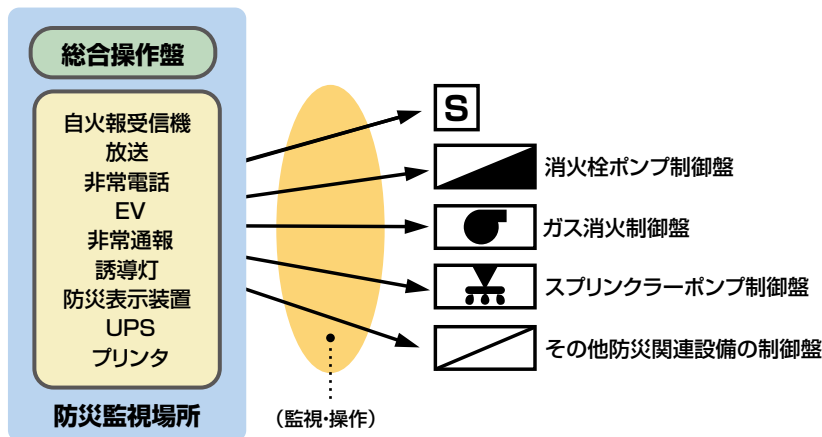


総合操作盤設置基準

防災設備等と総合操作盤の関連

総合操作盤に関する防災設備等は下記①～⑱があります。

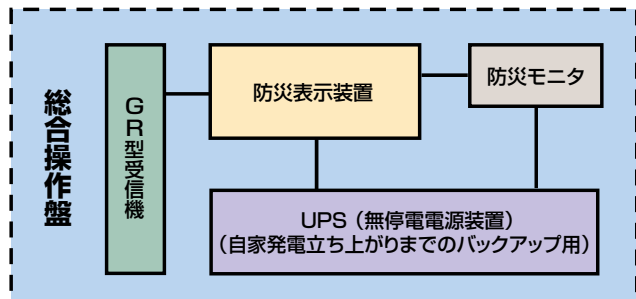
- ①屋内消火栓設備
- ②スプリンクラー設備
- ③水噴霧消火設備
- ④泡消火設備(移動式のを除く)
- ⑤二酸化炭素消火設備(移動式のを除く)
- ⑥不活性ガス消火設備(移動式のを除く)
- ⑦粉末消火設備(移動式のを除く)
- ⑧屋外消火栓設備
- ⑨自動火災報知設備
- ⑩ガス漏れ火災警報設備
- ⑪非常警報設備(放送設備に限る)
- ⑫誘導灯設備(自火報設備と連動するものに限る)
- ⑬排煙設備
- ⑭連結散水設備(選択弁を設ける場合に限る)
- ⑮連結送水管(加圧送水装置を設ける場合に限る)
- ⑯非常コンセント設備
- ⑰無線通信補助設備(増幅器を設ける場合に限る)
- ⑱防災設備等(防火・防煙、非常照明、非常EV、……)
- ⑲その他設備(空調、給排水、電力、……)



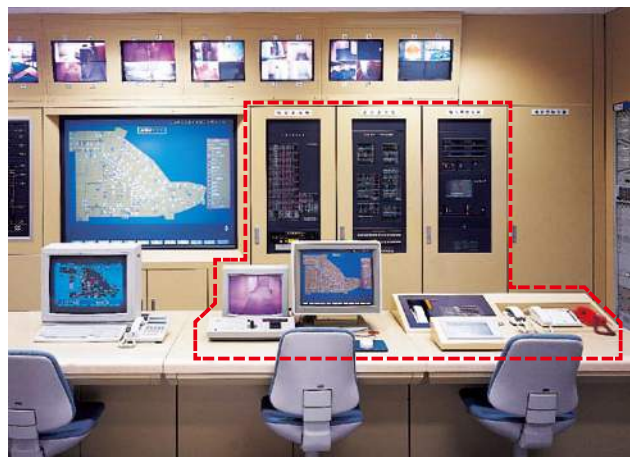
■総合操作盤の構成

総合操作盤は、複数の消防設備の監視、操作等を行う防災表示装置、受信機等で構築されます。

構成例(建物ごとに異なる)



総合操作盤の設置例①



総合操作盤の設置例②

